

宇治市教育委員会定例会会議録

日 時 平成27年7月16日(木) 午後6時 開議

場 所 宇治市役所 602会議室

会 議 日 程

- 日程第1 会議録署名委員の指名について
日程第2 会期について
日程第3 教育長報告
日程第4 報告第9号 専決事項の報告について

会議に付した事項 会議日程に同じ

出席者

(教育委員)

委 員 長	西 野 正 博
委員長職務代理者	金 丸 公 一
委 員	中 筋 斉 子
委 員	里 村 一 成
委員(教育長)	石 田 肇

(出席職員職氏名)

部 長	中 村 俊 二	副 部 長	畑 下 茂 生
参事(兼生涯学習課長兼生涯学習センター所長)	藤 原 千 鶴	教育支援センター長	瀬 野 克 幸
教育総務課長	河 田 政 章	学校教育課長	上 道 貴 志
一貫教育課長	金 久 洋	教育支援課長	富 治 林 順 哉
歴史資料館長	坂 本 博 司	学校教育課副課長	井 上 宜 久
一貫教育課副課長	市 橋 公 也	一貫教育課総括指導主事	辻 弘 一
教育支援課副課長	海 老 瀬 正 純		

(書記職員職氏名)

教育総務課企画庶務係長	上 田 ひ と み	教育総務課主事	久 野 晴 香
-------------	-----------	---------	---------

開 会 (午後6時)

開会宣言 委員長が7月教育委員会定例会の開会を宣言する。

日程第1 会議録署名委員の指名について

委員長から宇治市教育委員会会議規則第13条第3項の規定により、中筋委員を指名する。

日程第2 会期について

委員長から1日限りとする旨の提案があり、全会一致で決定する。

日程第3 教育長報告

- (1) 文教福祉常任委員会について(平成27年7月1日)
 - (2) 「企画展 戦争遺品展」の開催について
 - (3) 木幡中学校陸上部4名の救急搬送について
 - (4) 「要望書」等について
 - (5) 宇治市教育委員会後援事業について
- 以上5件を報告する。
-

[説明]

(1) 文教福祉常任委員会について(平成27年7月1日)

宇治市通学路交通安全プログラムの策定について

学校施設の非構造部材耐震設計業務について

平成26年度宇治市総合野外活動センターの指定管理者事業報告について

平成26年度宇治市巨椋ふれあい運動ひろばの指定管理者事業報告について

夏の企画展「絵で見る平安時代 王朝びとのくらし」の開催と関連事業の実施について

平成26年度宇治市・児童生徒の問題行動と不登校の状況について

(2) 「企画展 戦争遺品展」の開催について

総務部総務課が所管する宇治市平和都市推進協議会(以下、「平推協」という。)と連携した取組として、戦後50年の1995年以降、5年あるいは10年といった節目ごとに、歴史資料館にて展覧会を開催している。本年は戦後70年であり、それを見据えての昨年夏の催しに続いて、明後日の18日から戦争遺品展を開催する。

平推協から寄託される400点余りの資料は、大方が兵役に従事された方もしくはご遺族から寄せられたもので、入営記念ののぼり、寄せ書き、軍服・背囊・水筒・帽子など当時実際に使用・着用されたものや、衣料切符、新聞、雑誌など当時の世相をうかがわせる資料も含まれる。これらに本館が収集した資料・情報を加えて、展示室中央に終戦直後に占領軍によって撮影された空中写真を引き伸ばして敷き詰め、宇治市域から広く戦中の様子を見渡す構成になっている。

回数を重ねるたびに関係する情報については量的にも内容的にも充実していくため、特に解説の類が整備されてきた。

そのような中で、比較的当初に平推協に寄せられた山北重松さんの軍隊日記を館員が丹念に読み込み、その方の遺品や関連情報をまとめた一つのコーナーを設けた。山北さんは大正7年に大阪心斎橋に生まれ、昭和15年に入隊、翌年末に南方で戦死してしまうが、入隊直後から出兵直前のわずか1年間の日記が残った。軍隊での任務は主に馬の世話が中心であり、趣味はクラシック音楽でピアノ演奏がお得意だった。そして二十歳過ぎの若者らしく特定の女性に想いを寄せるのだが、相手にしてくれないその人を彼はカーネーションと記すのである。特設コーナーは「馬とピアノとカーネーション」と題し、9月6日まで展示している。

(3) 木幡中学校陸上部4名の救急搬送について

平成27年7月15日に木幡中学校の陸上部で3日ぶりに練習を行ったところ、4名の生徒が熱中症と思われる症状を発症し、救急搬送された。

経過としては、7月15日の13時45分頃に陸上部が練習を開始し、アップ、ジョギング、日陰ストレッチ等の軽い運動を行い、14時30分頃に部員30名で15分間走を開始した。15分間走は、200mを75秒程度、通常のジョギングよりやや早いペースで走る練習である。14時37分頃に部員2名が「気分が悪い」と自ら歩いて保健室へ行き、それぞれ熱中症と思われる過呼吸、手足のしびれの症状を訴えた。その後、2名以外にも保健室に行く生徒が増え、最終的に7名が保健室に行った。15時頃に学校から消防へ通報し、15時17分頃に救急車2台が到着し、さらに搬送の必要のある生徒を乗せるため1台の追加要請を行った。15時40分頃、男子2名が武田総合病院へ搬送済み、女子1名が宇治徳洲会病院へ搬送済み、女子1名が宇治病院へ搬送中との連絡が入った。

4名の生徒はいずれも軽症で当日帰宅し、各保護者へは連絡済みである。また、保護者説明会は実施せず、16日に全校集会を行い、熱中症の予防対策について指導を行った。

熱中症対策のこれまでの取組としては、平成25年8月に「運動部活動指導ハンドブック」を各小学校に3部、各中学校に全教員分送付した。本年度については、6月1日付けで「熱中症事故、落雷事故及び竜巻事故の防止について」を各小中学校に通知し、「運動部活動指導ハンドブック」を活用して、熱中症の予防対策を行うよう依頼した。また、7月15日付けで「熱中症事故の防止について」を各小中学校に通知した後、本事案を受けて7月16日付けで「熱中症事故の防止について(再依頼)」を各小中学校に通知した。

(4) 「要望書」等について

宇治市立幼稚園PTA連合会会長より「平成27年度 要望書」の提出があった。

(5) 宇治市教育委員会後援事業について

宇治市公園公社主催の「植物公園で絵を描こう!」他11件、計12件の事業について後援した。

[質 疑]

[委 員] 木幡中学校の熱中症の件について、最初に症状を訴えた2名は男子か、女子か。

[事務局] 中学2年生の男子1名、女子1名である。

[委 員] 保健室に行った7名について、男女の内訳は把握しているか。

[事務局] 搬送された4名は、男子2名、女子2名とわかっているが、搬送されていない3名についての男女の内訳は把握していない。

[委 員] 女子生徒の間で過呼吸等の症状が連鎖することがあるため、保健室に行った生徒のうち、熱中症の症状ではなかった生徒もいたかもしれないと思い、質問したものである。

[委 員] 熱中症対策の取組として、7月15日付けと7月16日付けで通知を行っているが、大きな違いはあるのか。

[事務局] 7月15日付けの通知については事案に関係なく、7月13日付けの京都府教育委員会からの通知を受けて発出したものである。7月16日付けの通知については、木幡中学校の熱中症と思われる事案を受けて、当該校のみならず全市レベルで再発防止を徹底するために再依頼を行うこととしたもので、そのため連日の発出となっている。内容としては、6月1日付けの通知を踏まえ、平成25年に中学校の全教員に配付しているハンドブックを研修や指導に活かすよう、強調しているところである。

日程第4 報告第9号 専決事項の報告について

[説 明] 本報告は、宇治市教育委員会事務委任等に関する規則第4条第1項第4号の規定により専決処分を行った専決第7号について、宇治市教育委員会事務委任等に関する規則第4条第2項の規定により報告するものである。

専決第7号「宇治市少年補導委員の委嘱について」は、宇治市教育委員会事務委任等に関する規則第4条第1項第4号の規定により、青少年の非行防止を目的に日々補導活動・社会環境浄化活動の推進に努めている少年補導委員について、8月1日付で1名の追加委嘱を行ったものである。今回の追加委嘱により、少年補導委員の人数は合計120名である。なお、男女別では、男性61名、女性59名となっている。

[質 疑] なし

[討 論] なし

閉会宣言 委員長が7月教育委員会定例会の閉会を宣言する。

閉 **会** (午後6時20分)